

病院未経験の
経営企画部長
奮闘記

企画系の「やわらか発想」で 経営力アップ!

連載

第5回 職員の提案やアイデアを輝かせる ～東山会公認キャラクター「きたみん」の活躍～

着ぐるみキャラクターを広報担当に!

ゆるキャラブームがピークを迎えていたころ、当院でもゆるキャラ愛好家が集まって、サークル活動を始めていました。最初は絵の上手な職員が書いたイラストをステッカーにして、私物に張って楽しんでいました。

そんな活動が高じて本格的に着ぐるみをつくるべく、院内でバザーを開いて資金を集め、2014年10月、ついに着ぐるみをつくってしまいました。喜多見東山クリニックの医師が中心になってつくったので「きたみん」と名前をつけて、職員総会や忘年会などに参加するようになりました。

2015年1月、サークルの主力メンバーから、着ぐるみキャラクター「きたみん」を東山会公認にしてほしいという相談を受けました。ゆるキャラ仲間とのつながりができたことで活動量が増え、サークル員で運営するには負担がかかりすぎてきたということでした。

筆者は当時、ゆるキャラに全く興味がなく、どちらかといえば、「きたみん」サークルを冷めた目で見ていたほうだったので困りました。もっともらしい理由をつけて却

下したい気持ちがありました。一生懸命プレゼンしてくるメンバーの姿を見ると、「何とかできないものか」という気持ちのスイッチが入り、サークルメンバーと一緒に、東山会公認にする方法を考えることにしました。

2015年2月の社会福祉協議会10周年記念パーティーのイベントに、「きたみん」が参加することになっていたので、筆者も参加してみました。イベントに登場すると、人を寄せつける力がありました。「調布市福祉まつり」へのオファーがあったことも踏まえ、経営企画部の広報担当という位置づけで企画をまとめ、幹部会議で承認を得ました。2015年4月の入職式では、理事長から経営企画部広報担当という辞令を授与してもらいました(写真1)。

キャラクターの主な活動と実績

「きたみん」の主な活動は、別表のとおりです。院内イベントに「きたみん」が登場すると、周囲の職員が寄ってきて、笑顔があふれます。

また、院外イベントにも参加するようになり、キャラクター同士の付き合いが始まり、イベント情報が漏れなく入ってくるよ

別表 「きたみん」主な活動など

院内イベント	・職員総会 ・入職式 ・院内運動療法教室 ・ハロウィンパーティー ・忘年会 ・クリスマスコンサート ・“きたみん”誕生会
院外イベント	・調布よさこい(写真2) ・調布市福祉まつり ・調布市観光フェスティバル ・調布商工まつり ・味の素スタジアムJリーグのハーフタイムショー ・世界キャラクターさみっと ・ピンクリボン運動 ・ブルーサークル運動
キャラクターグッズ	・名刺(理事長や院長の名刺にも「きたみん」のイラストが入っている) ・販促グッズ(ボールペン付き付箋ノート、クリアファイル) ・ライト付きボールペン ・煎餅 ・紅白饅頭 ・Tシャツ ・法被



写真1
広報担当の辞令を授与された「きたみん」と小川理事長



写真2
調布よさこいで子どもたちと踊る「きたみん」

うになりました。例えば、当院医師が講師を務める小学校でのヘルスアップ教室に参加したり、ピンクリボン運動や世界糖尿病デーのブルーサークル運動に参加したりと、予防医療の分野でも活躍しています。

地域から愛されるキャラクターが活動することで、親近感のあるイメージを醸成しています。効果を数字で表現することはできませんが、多くの職員が「きたみん」に親しみを感じていますし、盛り上げ役としての効果を実感しています。

職員からの提案を輝かせ、 組織を活性化するために

自分の管轄する組織が「活気がない」、「指示したことしかやらない」と感じたときは、まずその原因は自分たち管理者にないかを疑ってみるべきだと思います。

リーダーの何気ないちょっとした言動で、メンバーのアイデアや提案を潰してしまっていることが多々ありますし、筆者自身も

そのような失敗を幾度も繰り返しています。それでも職員がアイデアを提案してくる雰囲気をつくろうと努力しています。「この人はアイデアを出すことを評価してくれる。一生懸命に考えたならば、そのアイデアと向き合い、実現できるように一緒に考えてくれる」と思ってもらえるようにします。

提案やアイデアは、そのままでは使えなかったり、法人の承認を得られなかったりするものが大半です。却下する理由を探せばいくらかでも挙げられますし、それで逃げてしまいたいという気持ちが首をもたげます。そこをぐっところえて、実現できる道を提案者と一緒に考えてみる。そういうことの積み重ねが、アイデアや提案が出てくる組織風土を醸成し、組織が活性化する道であると考えています。

すべての提案に対してできているかと問われると怪しいですが、まずは提案を実現させる方向でイメージしようと心掛けています。